

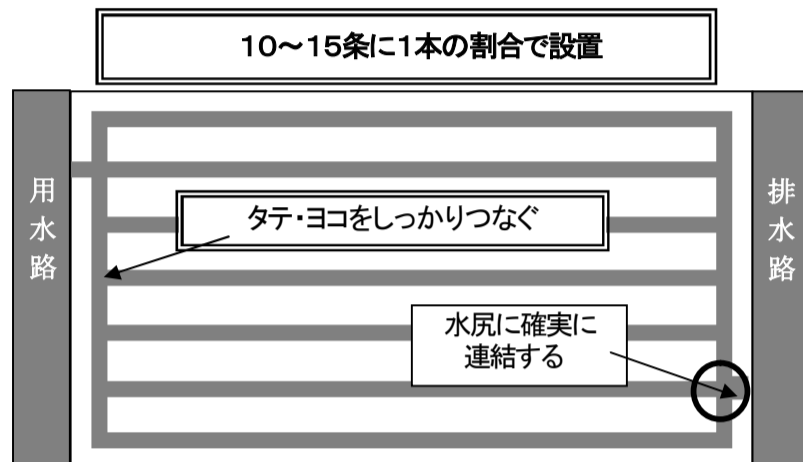
水稻直播栽培特報(第3号)
～ カルパー&鉄コーティング ～

平成29年6月
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

本年は播種時から苗立ち気候が恵まれたため概ね苗立ちは良好で、すでに分げつの発生しているほ場も見られます。今後は、急激に分げつ増加するため、特に苗立ちが多かったほ場では、過剰茎数が懸念されます。**早急に『溝掘り』を行うとともに、『中干し』は遅れずに実施**し、稲体および根の健全化を図りましょう

1 溝掘り・中干し

- 『中干し』に入る前に、**5条～10条に1本を目安に必ず『溝掘り』を行いましょ**う。なお、播種と同時に溝切を行っている場合でも、再度『溝掘り』を行いましょ
- 『中干し』は、**1m間の茎数が100本程度になったら遅れずに開始しましょ**う。なお、極端に強い『中干し』は、穂数不足になりやすいので、避けましょ
- 中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行いましょ



鉄コーティング直播では、根の露出が多いと倒伏の原因となります。**中干しで根の土中への貫入**を促しましょ

2 病虫害防除

- いもち病対策：予防粒剤は、**6月15日頃を目途に散布**し、散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしないようにしましょ (薬剤の水田外への流亡を防ぐ)。

薬剤名	10a 当たり使用量	備考
オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。

- 害虫対策：斑点米の原因となるカメムシ類の繁殖を抑えるため、畦畔や雑草地の草刈りを徹底しましょ

3 雑草防除

- 藻や表層はく離が発生しているほ場では、**水の入れ換え**を行いましょ
- 雑草が残っているほ場では、雑草の種類に応じて、後期剤を適期に散布しましょ

雑草種類	使用除草剤	10a 当り使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg	播種後25日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
ノビエと 広葉雑草	アクシズMX 1キロ粒剤	1kg	イネ2葉期～ ノビエ4葉期まで (収穫15日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	サンパンチ 1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ ノビエ3葉期まで (収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	ワイドアタック D1キロ粒剤	1kg	イネ4葉期～ ノビエ5葉期まで (収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	クリンチャー バスME液剤	1000ml (希釈水量70～100l)	播種後10日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3～4日間は入水、落水しない。
広葉雑草 のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～ 入水50日後まで (収穫60日前まで)	1回	落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700ml (希釈水量70～100l)	播種後 35～50日 (収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、決められた使用回数や散布量を守る等、使用基準を遵守しましょ